

# 土砂災害避難訓練が実施されました！

## 訓練対象地域は大原地域の浪花地区

市内で指定されている「土砂災害警戒区域」は306箇所と、県内でも多く、過去にもがけ崩れによる土砂災害が発生し大きな被害を受けています。市では土砂災害から命を守るために、土砂災害避難訓練を毎年実施しています。



避難者受付の様子【大原台コミュニティーセンター】



AED講習  
【夷隅広域消防】



炊出しの様子  
【自衛隊、日赤奉仕団・女性の会】



要配慮者の避難の様子  
【日赤奉仕団・女性の会】

## 避難訓練の実施内容

今回の訓練は「梅雨前線による集中豪雨で土砂災害警戒情報が発表され、浪花地区に土砂災害発生の恐れがある」との想定で、浪花地区在住の方及び関係者約150名が、指定避難所である大原台コミュニティーセンターへ避難し、情報伝達手段の確認、避難経路・避難要領等の確認を行いました。訓練のアンケートでは、「防災に対する意識が高まり、参加してよかった。」といった回答が多く、地域住民の方々に防災意識の醸成が図られました。

## 避難訓練に参加しましょう！

いすみ市では、11月4日（土）に津波避難訓練を実施する予定です。災害が発生しても被害を最小限にできるよう、避難訓練へ積極的に参加して、防災意識を高めましょう。

## いすみ市防災メールの登録はお済みですか？

いすみ市防災メールは、災害発生や災害状況について配信しています。登録されていない方は、下記URLまたは右のQRコードより登録できますので、ぜひご登録ください。

<https://service.sugumail.com/isumi/member/>



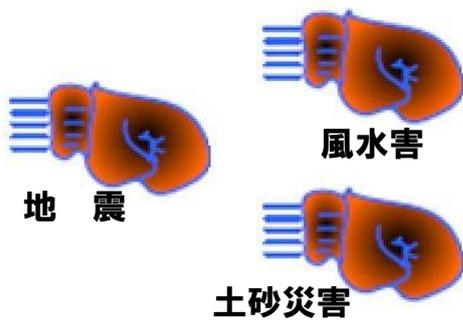
# 自主防災組織を結成しましょう

災害が発生したとき、普段から生活環境を共有している、地域住民同士が相互に協力し合う「共助」が被害軽減のために、最も重要な行動となります。

自主防災組織は、平常時は災害に備えるための活動を行い、災害発生時には人命を守り、被害の拡大を防ぐために行動します。

自分達の地域を災害から守るため、災害についての知識や、避難所（場所）の把握など、普段からの取り組みが大きな効果へとつながります。

そのためにも、各地域で自主防災組織を結成し、災害に備えましょう。



**【防災力】**

- ・地域の弱点認識
- ・助け合い
- ・防災知識
- ・防災訓練
- ・予防対策

**自 主 防 災 組 織**

自主防災組織を結成するときは、助成制度を利用しましょう。

★設置助成

加入世帯数	金 額
49世帯以下	50,000円
50世帯～299世帯	80,000円
300世帯～999世帯	100,000円
1,000世帯以上	120,000円

★活動補助金

区分	金 額
基礎額	1 自主防災組織につき 10,000円
参加割額	参加人数に300円を乗じた額 (ただし、当該自主防災組織の加入世帯数に300円を乗じた額を限度とする)

★資機材購入助成

自主防災組織が防災活動に必要な助成対象資機材を購入するために要する費用で、次の額が上限。

(1) 次に掲げるアとイの合計

ア 組織割 1 自主防災組織につき 100,000円

イ 世帯割 当該自主防災組織結成時の加入世帯数に500円を乗じた額

※自主防災組織の結成についてのご相談は、危機管理課まで。